

第5次レッドデータブック：
絶滅のおそれのある日本の野生生物
The 5th Red Databook, Threatened wildlife of Japan

オリイコゲラ

Yungipicus kizuki orii Kuroda, 1923

西海功（国立科学博物館）

絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会 鳥類分科会



令和8（2026）年3月



特に文献内で別途指定がない限り、この文献はクリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際ライセンスの下に提供されています。

<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

種毎の解説を引用する場合には以下のように記述してください。

引用表示：西海功，2026. オリイコゲラ. 環境省（編）第5次レッドデータブック：絶滅のおそれのある日本の野生生物，pp. 319-322.

Citation: Nishiumi, I., 2026. *Yungipicus kizuki orii* Kuroda, 1923. In: Ministry of the Environment, Japan (ed.), *The 5th Red Databook, Threatened wildlife of Japan*, pp. 319-322.

オリコゲラ

Yungipicus kizuki orii Kuroda, 1923

カテゴリー判定結果 絶滅危惧 I B 類 (EN) B2ab				
基準 A: —	基準 B: EN	基準 C: —	基準 D: —	基準 E: —
B2. 生息地面積が 500 km²未満であると推定されるほか、次の兆候が見られる。 a) 生息地が過度に分断されているか、5 以下の地点に限定されている。 【地点数】5 地点以下 b) 出現範囲、生息地面積、生息地の質、生息地点数、成熟個体数のいずれかに継続的な減少が推定・予測される。 【判断理由】 50 年前の調査と比較して、観察個体数について明らかに減少傾向がみられる。原因として、開発のための森林伐採、採水のための河川の開発などが考えられる。				
評価分科会： 鳥類分科会				

概要

西表島の常緑広葉樹林等に生息する日本固有亜種である。亜種コゲラ (*Yungipicus kizuki nippon*) よりも小型である。50 年前の調査と比較すると、観察個体数について明らかに減少傾向がみられる。

基礎情報

【形態】

嘴峰約 13.5 mm、翼長 76.5－79 mm、跗蹠約 13.5 mm、尾長 44.5－46.5 mm。亜種コゲラ（*Yungipicus kizuki nippon*）に酷似するが、体は全体に濃色で、頭上は黒褐色であり、亜種コゲラよりも小型である。

【生活史】

雑食性であるが、主に昆虫類やクモ等の動物質の物を食べる。亜種コゲラ（*Yungipicus kizuki nippon*）と同様に、生きた木の枯れ枝や、立ち枯れ木に繁殖のための巣穴を作る。

【生息環境】

常緑広葉樹林に生息する。

生息環境区分：	【陸域_低標高地】森林 【陸域_平地部】森林
国土地域区分：	(1) 奥山自然地域, (7) 島嶼地域

【分布域】

西表島に留鳥として分布する。

現在の生息状況

【分布域の現況】

近年において大きな変化はないと考えられる。

【生息地の現況】

開発のための森林伐採、採水のための河川の開発などにより、生息に適した環境が減少している。

【個体数の現況】

個体数の総数については不明であるが、30～40 年前の調査と比較して、観察個体数について明らかに減少傾向がみられる。

存続を脅かす要因

減少の要因として、開発のための森林伐採、採水のための河川の開発などが考えられる。

要因の区分：	(過去)	不明
	(現在)	森林伐採, 河川開発

特記事項

特になし

旧レッドリストカテゴリーと掲載名

第4次 2020:	—	—	—
第4次 2019:	—	—	—
第4次 2018:	—	—	—
第4次 2017:	—	—	—
第4次 2015:	—	—	—
第4次:	—	—	—
第3次:	—	—	—
第2次:	—	—	—
第1次:	—	—	—

都道府県レッドリスト・レッドデータブック掲載状況（令和6年度末時点）

【沖縄県】絶滅危惧 I B 類(EN)

保護に係る法令指定状況（令和7年度末時点）

鳥獣保護管理法

参考文献

- 清棲幸保, 1978. 増補改訂版 日本鳥類大図鑑 I. pp. 652. 講談社, 東京.
- 森岡弘之, 1974. 琉球列島の鳥相とその起源. 国立科学博物館専報, (7): 203-211.
- 日本鳥学会, 2024. 日本鳥類目録改訂第8版. 506pp. 日本鳥学会, 東京.
- 沖縄県環境部自然保護課, 2017. 改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物 第3版（動物編）. pp. 132-133. 沖縄県環境部自然保護課, 沖縄.

アセスメントサマリー (Assessment summary)

Yungipicus kizuki orii has been assessed for threatened wildlife of Japan Red List 5th edition. *Yungipicus kizuki orii* is listed as EN under criteria B2ab.

B2. Area of occupancy estimated to be less than 500 km², and estimate indicating at least two of a-c:

- Severely fragmented or known to exist at five or fewer locations.
- Continuing decline, observed, inferred or projected, in any of the following:
 - extent of occurrence

(ii) area of occupancy (iii) area, extent and/or quality of habitat (iv) number of locations or subpopulations (v) number of mature individuals	
Habitat types:	【Terrestrial/Freshwater area_Low-altitude area】 Forest 【Terrestrial/Freshwater area_Plain】 Forest
Threat types:	Logging and wood harvesting, River development
Law designation status for conservation	Wildlife Protection, Control, and Hunting Management Act.



©西海功（国立科学博物館）



©西海功（国立科学博物館）

執筆者:	西海功（国立科学博物館）
Author:	Isao Nishiumi

公表年月：2026 年 3 月